



2019年2月期 決算説明資料

2019年4月23日

株式会社スーパーバリュー
(JASDAQ:3094)



1. 当社の概要



- 1) スーパーバリューとは・・・
- 2) 店舗展開
- 3) 売上・店舗数推移

① スーパーバリューとは・・・

都市型スーパーセンター

SM

食品スーパー

×

(複合)

HC

ホームセンター

&

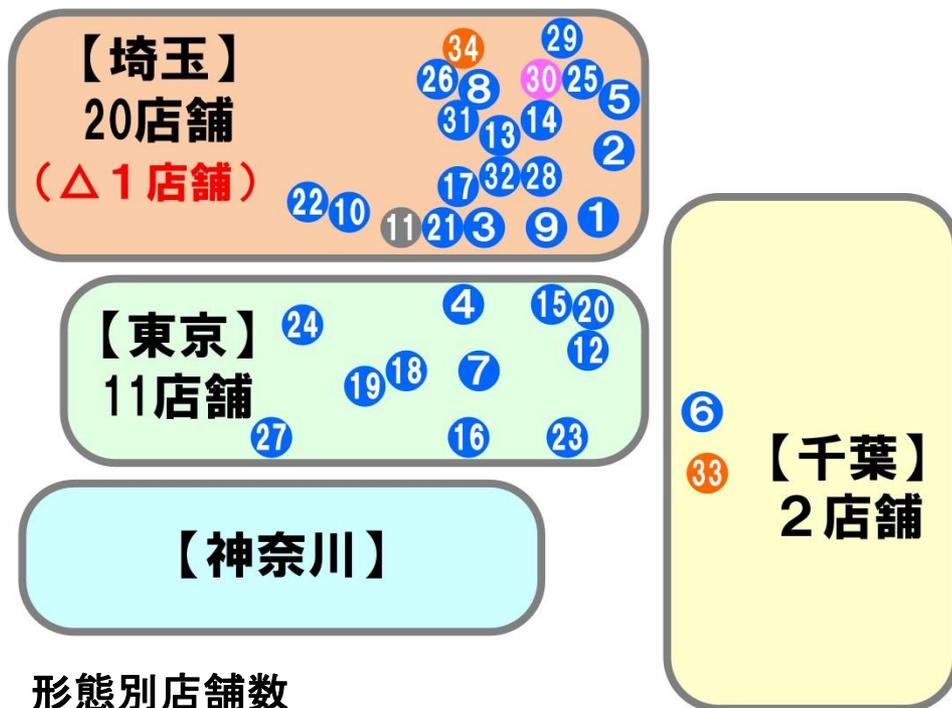
=



SM

食品スーパー

2 店舗展開



形態別店舗数

	SM+HC 複合	SM+ 一部HC	SM	卸売 パワーセンター
埼玉	4店	2店	13店	1店
東京	5店	-	6店	-
千葉	-	-	2店	-
合計	9店	2店	21店	1店

【埼玉】

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 草加店 | 17 中浦和店 |
| 2 越谷店 | 21 朝霞泉水店 |
| 3 戸田店 | 22 飯能店 |
| 5 春日部武里店 | 25 春日部大場店 |
| 8 上尾愛宕店 | 26 上尾小泉店 |
| 9 川口前川店 | 28 川口伊刈店 |
| 10 入間春日町店 | 29 春日部小湊店 |
| 11 東所沢店 | 30 卸売パワーセンター 岩槻店 |
| (2019年1月27日閉店) | 31 大宮三橋店 |
| 13 大宮天沼店 | 32 南浦和店 |
| 14 見沼南中野店 | 34 上尾緑丘店 |

【東京】

- | | |
|-----------|-----------|
| 4 練馬大泉店 | 19 国立店 |
| 7 杉並高井戸店 | 20 西尾久店 |
| 12 荒川一丁目店 | 23 品川八潮店 |
| 15 志茂店 | 24 福生店 |
| 16 等々力店 | 27 八王子高尾店 |
| 18 府中新町店 | |

【千葉】

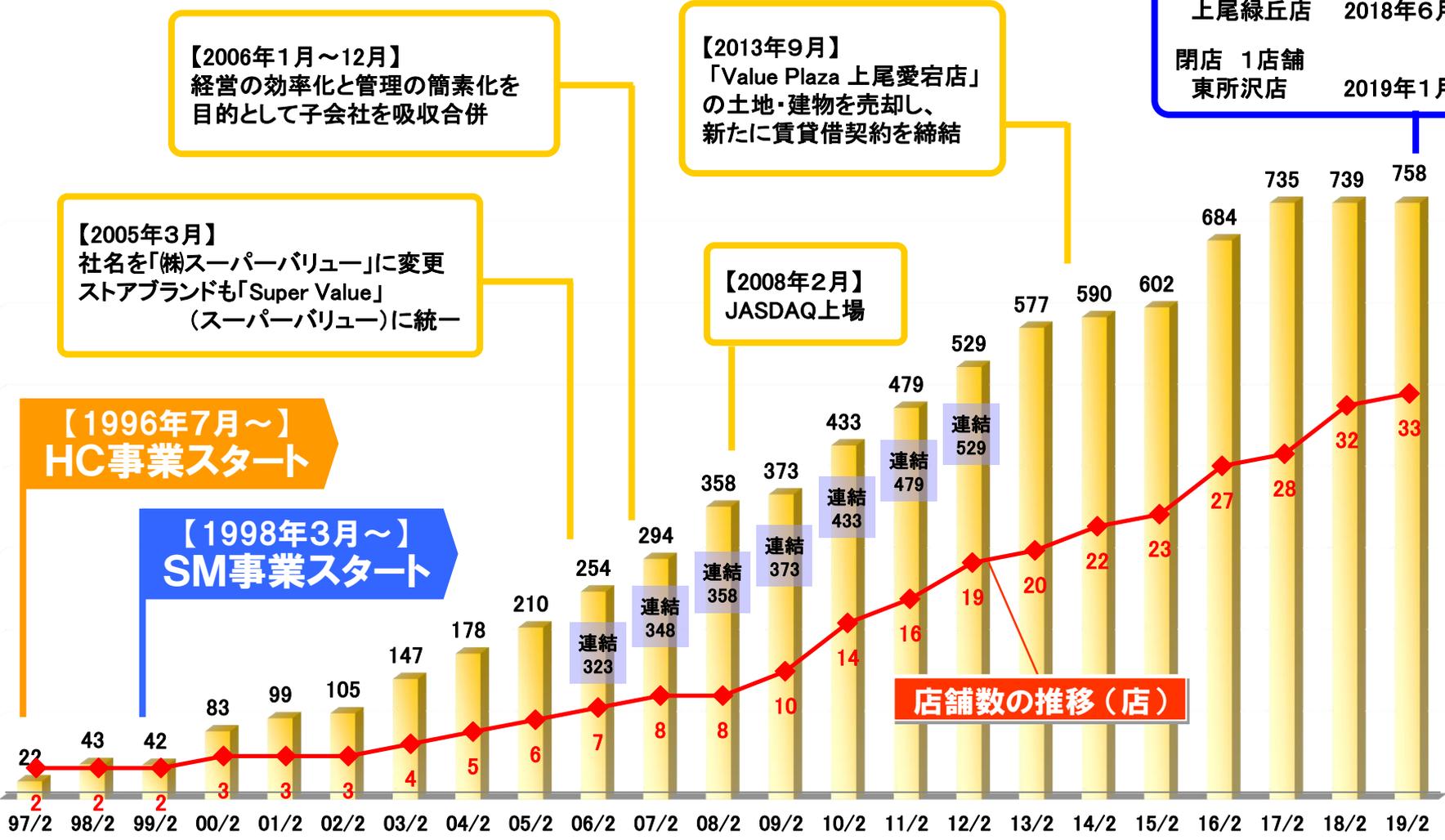
- | | |
|--------|---------|
| 6 南船橋店 | 33 幕張西店 |
|--------|---------|

注)番号は出店順 店舗数は2019年4月23日現在

③ 売上・店舗数推移

売上高の推移（億円）

新規出店 2店舗
 幕張西店 2018年3月
 上尾緑丘店 2018年6月
 閉店 1店舗
 東所沢店 2019年1月



【2006年1月～12月】
 経営の効率化と管理の簡素化を
 目的として子会社を吸収合併

【2013年9月】
 「Value Plaza 上尾愛宕店」
 の土地・建物を売却し、
 新たに賃貸借契約を締結

【2005年3月】
 社名を「㈱スーパーバリュー」に変更
 ストアブランドも「Super Value」
 (スーパーバリュー)に統一

【2008年2月】
 JASDAQ上場

【1996年7月～】
 HC事業スタート

【1998年3月～】
 SM事業スタート

店舗数の推移（店）



2. 決算概況



- 1) 決算ハイライト
- 2) 既存店の状況
- 3) 売上の状況
- 4) コストの状況
- 5) 設備の状況／従業員の状況
- 6) 要約貸借対照表
- 7) 要約キャッシュ・フロー計算書

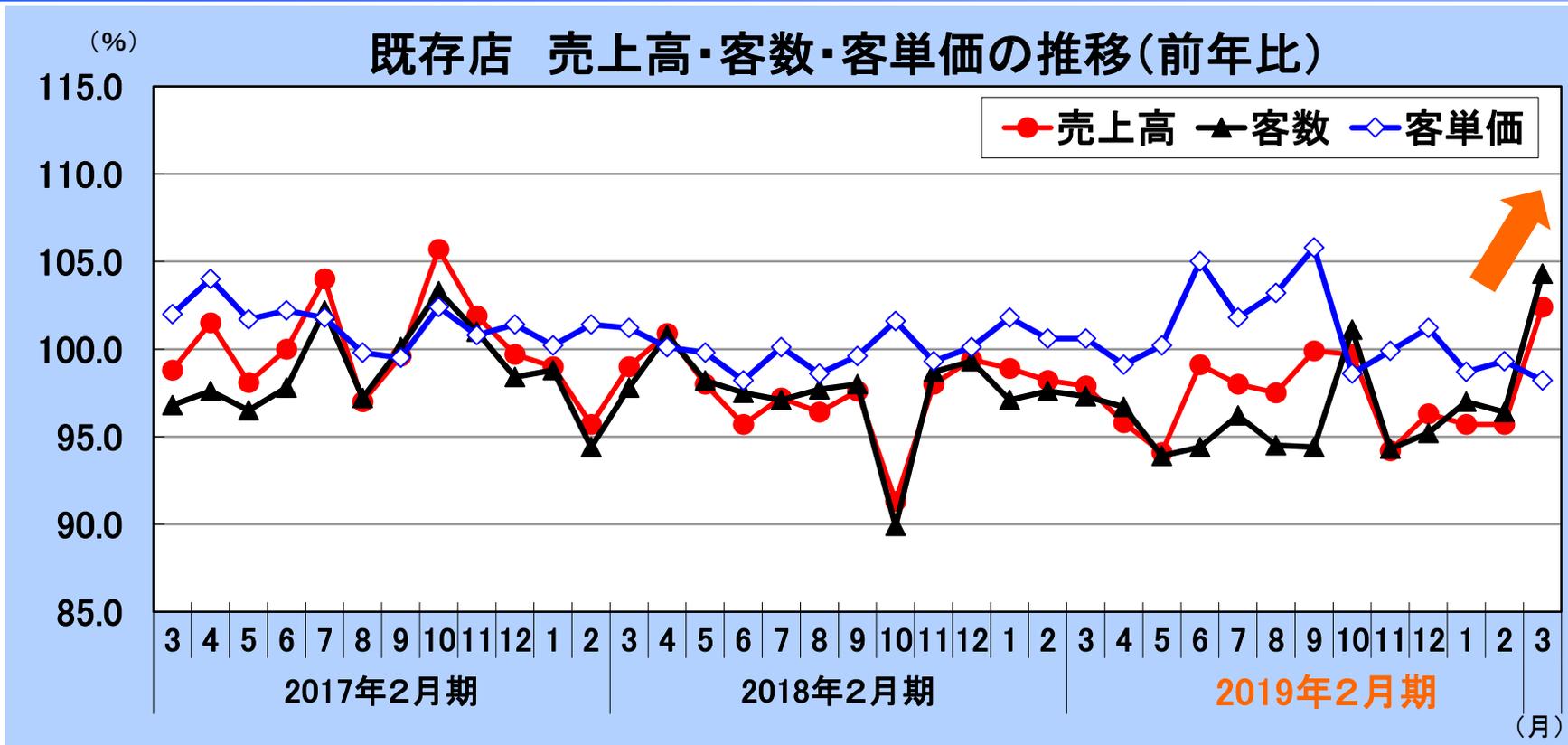
1 決算ハイライト

単位:百万円、%

<単体>	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前期比
売上高	73,523	100.0	73,966	100.0	75,875	100.0	+ 2.6
売上総利益	15,874	21.6	16,017	21.7	16,465	21.7	+ 2.8
営業収入	343	0.5	331	0.4	345	0.5	+ 4.3
営業総利益	16,218	22.1	16,348	22.1	16,811	22.2	+ 2.8
営業利益	888	1.2	55	0.1	△ 592	△ 0.8	△ 647
経常利益	977	1.3	156	0.2	△ 480	△ 0.6	△ 636
当期純利益	627	0.9	406	0.5	△ 1,197	△ 1.6	△ 1,603
総資産	22,918	-	26,423	-	25,727	-	△ 2.6
純資産	6,096	-	6,386	-	5,068	-	△ 20.6
1株当たり 当期純利益	<i>99.09円</i>	-	64.16円	-	△ 189.11円	-	△ 253.27円
1株当たり純資産	<i>961.32円</i>	-	1,007.15円	-	799.04円	-	△ 208.11円
1株当たり配当金	<i>55.0円</i>	-	19.0円	-	19.0円	-	-

- 注) 1. 当社は、2017年3月1日付けで株式分割(1株→3株)を行っております。「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」については、2017年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております(斜体で記載)。
 2. 「1株当たり配当金」について、2017年2月期は、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております(斜体で記載)。
 3. 2019年2月期の営業利益・経常利益・当期純利益の前期比については、前期との差額を記載しております(斜体で記載)。

② 既存店の状況



出退店の状況

- 出店 幕張西店(3月)
上尾緑丘店(6月)
- 閉店 東所沢店(2019年1月)

既存店売上高の状況

	2019/2期	前期比
既存店売上高		97.0%
客数		95.9%
客単価		101.1%
買上点数		96.4%

③ 売上の状況 事業部門別売上高・売上総利益率

単位:百万円、%

<単体>	2017年2月期			2018年2月期			2019年2月期			
	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	前期比	売上総利益率
合計	73,523	100.0	21.6	73,966	100.0	21.7	75,875	100.0	+ 2.6	21.7
SM事業	58,555	79.6	21.3	59,151	80.0	21.3	61,063	80.5	+ 3.2	21.2
生鮮食品	30,346	41.3	24.0	30,527	41.3	23.8	31,463	41.5	+ 3.1	23.7
グロッサリ	28,208	38.3	18.4	28,623	38.7	18.6	29,600	39.0	+ 3.4	18.6
HC事業	14,968	20.4	22.7	14,814	20.0	23.2	14,811	19.5	△ 0.0	23.3
第1グループ※	3,189	4.3	25.9	3,276	4.4	25.9	3,315	4.4	+ 1.2	26.3
第2グループ※	3,410	4.7	22.8	3,409	4.6	23.5	3,455	4.6	+ 1.3	23.2
第3グループ※	3,011	4.1	22.9	2,961	4.0	23.7	2,998	3.9	+ 1.3	23.4
第4グループ※	5,339	7.3	20.6	5,162	7.0	20.9	5,035	6.6	△ 2.5	21.4
その他	17	0.0	19.0	4	0.0	14.4	6	0.0	+ 60.3	16.9

※「第1グループ」：日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、リフォーム
「第3グループ」：家電製品、対面（時計・カメラ等）、インテリア用品

「第2グループ」：カー用品、レジャー用品、ペット用品
「第4グループ」：家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ

4 コストの状況

単位:百万円、%

<単体>	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		前期比
		売上比		売上比	売上比		
売上高	73,523	100.0	73,966	100.0	75,875	100.0	+ 2.6
売上総利益	15,874	21.6	16,017	21.7	16,465	21.7	+ 2.8
営業総利益	16,218	22.1	16,348	22.1	16,811	22.2	+ 2.8
販管費 (主なもの)	15,329	20.9	16,293	22.0	17,403	22.9	+ 6.8
広告宣伝費	500	0.68	538	0.73	604	0.80	+ 12.3
人件費	7,632	10.38	8,002	10.82	8,301	10.94	+ 3.7
地代家賃	2,659	3.62	2,761	3.73	2,975	3.92	+ 7.7
リース料	184	0.25	188	0.25	230	0.30	+ 22.4
水道光熱費	845	1.15	908	1.23	1,064	1.40	+ 17.1
開店一時経費	57	0.08	138	0.19	90	0.12	△ 34.2

売上総利益率: ±0

↑ 計画的な利益管理徹底
↑ PB商品拡販

↓ 価格強化の推進
↓ ポイント使用の増加

販管费率: +0.9pt

↑ 前期も含め新店6店舗に
関わる各種経費の増加
⇒ 開店一時経費 90百万円

↑ 人件費の増加

↓ 作業のマルチ化による
生産性向上

5 設備の状況／従業員の状況

● 設備の状況

単位:百万円、%

<単体>	2017年2月期	2018年2月期		2019年2月期		
			前期比 増減額		前期比 増減額	前期比
新店・先行投資	702	1,819	+ 1,116	453	△ 1,366	△ 75.1
既存店活性化他	231	481	+ 250	177	△ 303	△ 63.1
設備投資計	934	2,301	+ 1,367	630	△ 1,670	△ 72.6
減価償却費	849	890	+ 40	1,060	+ 170	+ 19.1

● 従業員の状況

単位:人

<単体>	2017年2月期末	2018年2月期末		2019年2月期末	
			前期比 増減数		前期比 増減数
社員	555	532	△ 23	478	△ 54
契約・嘱託・臨時	1,913	2,115	+ 202	2,166	+ 51
合計	2,468	2,647	+ 179	2,644	△ 3

注) 契約・嘱託・臨時の人員数は、期中平均雇用人数(8時間換算)。

⑥ 要約貸借対照表 ①資産の部

単位:百万円、%

＜単体＞	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動資産	5,546	24.2	6,115	23.1	5,886	22.9	△ 229
現金及び預金	1,146	5.0	1,175	4.4	1,148	4.5	△ 26
商品	3,291	14.4	3,641	13.8	3,705	14.4	+ 64
固定資産	17,372	75.8	20,307	76.9	19,841	77.1	△ 466
有形固定資産	12,635	55.1	15,291	57.9	15,204	59.1	△ 86
建物	5,965	26.0	7,600	28.8	7,966	31.0	+ 365
土地	5,392	23.5	5,407	20.5	5,407	21.0	-
リース資産	690	3.0	1,095	4.1	984	3.8	△ 110
無形固定資産	209	0.9	451	1.7	452	1.8	+ 0
投資その他の資産	4,527	19.8	4,564	17.3	4,184	16.3	△ 380
差入保証金	3,704	16.2	3,697	14.0	3,588	13.9	△ 109
総資産	22,918	100.0	26,423	100.0	25,727	100.0	△ 695

⑥ 要約貸借対照表 ②負債・純資産の部

単位:百万円、%

<単体>	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動負債	9,665	42.2	11,137	42.2	11,341	44.1	+ 203
仕入債務	5,113	22.3	5,308	20.1	5,184	20.2	△ 124
短期借入金	850	3.7	2,100	7.9	2,600	10.1	+ 500
1年内返済予定の長期借入金	1,189	5.2	1,303	4.9	1,348	5.2	+ 45
リース債務	287	1.3	414	1.6	410	1.6	△ 3
ポイント引当金	193	0.8	396	1.5	196	0.8	△ 200
固定負債	7,156	31.2	8,899	33.7	9,317	36.2	+ 418
長期借入金	5,674	24.8	6,727	25.5	7,085	27.5	+ 357
リース債務	562	2.5	934	3.5	811	3.2	△ 123
負債合計	16,822	73.4	20,036	75.8	20,658	80.3	+ 622
純資産合計	6,096	26.6	6,386	24.2	5,068	19.7	△ 1,317
負債・純資産合計	22,918	100.0	26,423	100.0	25,727	100.0	△ 695
有利子負債合計	7,714	33.7	10,130	38.3	11,033	42.9	+ 902

注)有利子負債合計には、リース債務を含んでおりません。

7 要約キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

＜単体＞	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	
				増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,231	419	294	△ 124
税引前当期純利益	970	575	△ 603	△ 1,179
減価償却費	849	890	1,060	+ 170
減損損失	6	3	123	+ 119
たな卸資産の増(▲)減額	△ 72	△ 350	△ 67	+ 283
仕入債務の増減(▲)額	△ 173	195	△ 124	△ 319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 921	△ 2,319	△ 630	+ 1,689
有形固定資産の取得による支出	△ 707	△ 1,961	△ 584	+ 1,376
差入保証金の差入による支出	△ 62	△ 131	-	+ 131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,445	1,929	309	△ 1,619
短期借入金の純増減(▲)額	△ 1,000	1,250	500	△ 750
長期借入金の純増減(▲)額	△ 16	1,166	402	△ 763
現金及び現金同等物の増減額	△ 135	28	△ 26	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,146	1,175	1,148	△ 26



3. 業績予想と取り組み



- 1) 通期業績予想
- 2) 今後の取り組み
 - ① 出店戦略
 - ② 2020年2月期のテーマ
 - ③ 生産性向上を目指して

1 通期業績予想

単位：百万円、%

<単体>	2018年2月期		2019年2月期		2020年2月期(予想)		
		売上比		売上比		売上比	前期比
売上高	73,966	100.0	75,875	100.0	82,131	100.0	+ 8.2
売上総利益	16,017	21.7	16,465	21.7	17,944	21.8	+ 9.0
営業利益	55	0.1	△ 592	△ 0.8	52	0.1	+ 644
経常利益	156	0.2	△ 480	△ 0.6	127	0.2	+ 607
特別損益	419	-	△ 123	-	-	-	-
当期純利益	406	0.5	△ 1,197	△ 1.6	116	0.1	+ 1,313

注) 2020年2月期(予想)の営業利益・経常利益・当期純利益の前期比については、前期との差額を記載しております(斜体で記載)。

● 新規出店：2店予定

世田谷松原店 SM店 東京都世田谷区 2019年夏開店予定

※上記のほか、千葉県内に複合店(居抜き)を予定 2019年秋開店予定

● 基幹システムの全面入替：2019年3月

業務効率の改善 + 標準化 ⇒ さらなる生産性向上を図る

● 既存店売上高：+2.0%

② 今後の取り組み ① 出店戦略

● 確実な需要が見込める市街地への出店

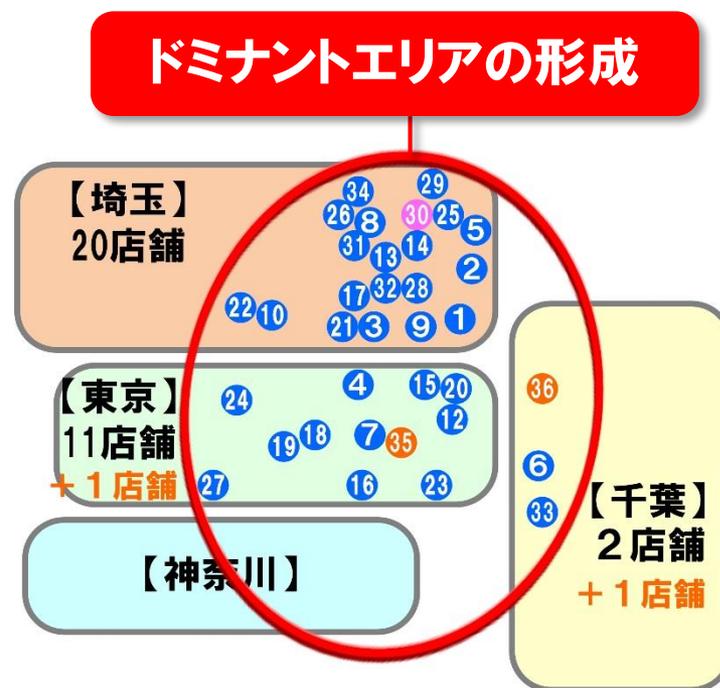
- ◆ 1都3県(埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県)の市街地・人口密集地をターゲットに「ドミナント出店」

● 一店一店の収益性・効率性・地域性を重視し、独自の出店基準に基づいた無理のない出店

- ◆ 売場構成・品揃え・店舗サービスなど、出店地域にあわせた柔軟な店舗フォーマット

● 新規出店は年間2～3店舗を目標

- ◆ 2020年2月期は、2店舗を出店予定
- ◆ 居抜物件への出店も検討
- ◆ SM・HC複合店の出店も視野に入れる



2020年2月期(24期)

『トップライン(客数・売上高)向上』

● お客様の支持を取り戻す ……最優先

- ◆ 売上総利益率を下げて集客 → 売上高を拡大
- ◆ お客様が分かりやすい売場づくり
- ◆ 若い世代のお客様を増やす
⇒ 必要に応じて店舗のミニ改装を実施

● 販促力の強化

- ◆ チラシの見直し(価格・商品など)
- ◆ 新たな販促ツールにチャレンジ

中期的な取り組み

- システム面の刷新(2019年3月実施)
 - ◆ 作業効率の改善
 - ◆ 標準化の推進
 - ⇒各店舗の独自性が最大限発揮できるようなオペレーション改革を進める
- 生産性向上のために
 - ◆ 母店製造供給体制の進化
 - ◆ 小型加工センター稼働

⇒安定した利益を確保できる体制へ



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社スーパーバリュー（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2019年4月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



株式会社スーパーバリュー 社長室

TEL : 048-778-3222

E-Mail : ir@supervalue.co.jp